

北本市国民健康保険事業特別会計 将来推計（R7納付金秋の試算反映）

議題(2)審議事項 ア

参考資料 1

※現行税率による試算（参考）

【参考】令和6年度当初予算
※概数で積上げのため誤差があります。

保険給付費 (療養諸費等)	普通交付金
保健事業費 (疾病予防)	特別交付金等
その他支出	繰入金、延滞金等 保険税滞納繰越分 2,900万円
4,600万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,700万円 財政安定化支援 2,300万円
納付金	保険税 現年課税分 11億1,100万円
16億4,800万円	保険基盤 2億3,400万円
	不足額 2億2,000万円

計 16億9,400万円 16億9,400万円

※基金繰入 2億2,000万円を充当

基金繰入後の基金残高（当初見込）

1億8,000万円

令和6年度予算執行見込（9月）
※概数で積上げのため誤差があります。

保険給付費 (療養諸費等)	普通交付金
保健事業費 (疾病予防)	特別交付金等
その他支出	繰入金、延滞金等 保険税滞納繰越分 2,900万円
4,600万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,700万円 財政安定化支援 2,300万円
納付金	保険税 現年課税分 11億1,100万円
16億4,800万円	保険基盤 2億3,400万円
	前年度繰越金 1億300万円 不足額 1億1,700万円

計 16億9,400万円 16億9,400万円

※基金繰入 1億1,700万円を充当

基金繰入後の基金残高（執行見込）

2億9,000万円

現行税率

税率	医療分		支援分		介護分		計		一人当たり 保険税額
	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	
R 6 年度	7.30%	29,900円	2.90%	10,200円	2.20%	14,700円	12.40%	54,800円	96,609円

【参考】

R7市町村標準保険税率(秋の試算)	7.38%	45,008円	2.64%	15,848円	2.31%	16,640円	12.33%	77,496円	-
-------------------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	--------	---------	---

令和7年度

その他支出 3,900万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,100万円 財政安定化支援 2,400万円 保険税滞納繰越分 2,500万円
【秋の試算】 納付金	保険税 現年課税分 【現行税率】 11億1,900万円 保険基盤【現行税率】 2億3,300万円
16億5,600万円	不足額 2億2,300万円

計 16億9,500万円 16億9,500万円

※基金繰入 2億2,300万円を充当

基金繰入後の基金残高（見込）

6,700万円

令和8年度

その他支出 3,800万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,100万円 財政安定化支援 2,300万円
納付金	保険税 現年課税分 【現行税率】 11億600万円 保険基盤【現行税率】 2億3,000万円
16億9,100万円	不足額 2億9,900万円

計 17億2,900万円 17億2,900万円

※基金繰入 6,700万円を充当

基金繰入後の基金残高（見込）

0万円

実際の不足額 2億3,200万円

令和9年度

その他支出 3,700万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,100万円 財政安定化支援 2,200万円
納付金	保険税 現年課税分 【現行税率】 10億9,300万円 保険基盤【現行税率】 2億2,700万円
17億2,700万円	不足額 3億5,100万円

計 17億6,400万円 17億6,400万円

※基金残高なし

基金繰入後の基金残高（見込）

0万円

実際の不足額 3億5,100万円

※試算条件

- 令和6年度は当初予算額を基に、9月時点の執行見込額を概算で示し、年度末の基金残高見込額を示すものです。
- 被保険者数を毎年1.1%減少で見込んでいます。（埼玉県運営方針(第3期)のR4→R11の平均減少率による。）
- 令和7年度は当初予算見積額を基とし、令和8年度以降の「その他支出」、「財政安定化支援」、「保険税現年課税分」、「保険基盤」は、前述の減少率1.1%を用いて算出しています。
- 令和7年度納付金は秋の試算結果を置き、令和8年度以降の納付金の一人当たりの伸び率を、医療分+3.750%、支援分+3.793%、介護分-2.808%として算出しています。（納付金実績平均伸び率R4→R7より）
- 保険基盤は産前産後保険税減額分を含めず算出しています。

【検証】

現行税率の場合、令和7年度当初予算は辛うじて編成できても、以後の補正予算の対応が難しくなる。
さらに、令和8年度は2億3,200万円の財源不足が見込まれ、当初予算が編成できない。